

ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その41 -

まきむくいせき
纏向遺跡

桜井市の北部、JR 巻向駅周辺にひろがる纏向遺跡は、初期ヤマト王権発祥の地として、また、邪馬台国の候補地として全国的にも著名な遺跡です。

範囲は、古代から信仰を集める三輪山を背に、南北に約1.5km、東西に約2kmと広範囲に広がっています。

卑弥呼の墓とも考えられている箸墓古墳や、纏向石塚古墳、矢塚古墳、勝山古墳などの古墳が数多くあり、また、大字辻では、古墳時代初頭の建築と考えられる首長の居館跡が発掘されています。

↓ 纏向遺跡の想像復元図



© 寺沢薫・加藤愛一

纏向遺跡の推定範囲



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課

(☎ 42 - 9111 内線 342)

twitter @himiko_chan

今回は、市民の人目線で「桜井のっておき」を選んだ、「大和さくらい100選」に選ばれている記紀万葉ゆかりの地「纏向遺跡」を紹介するよ！

↓ 纏向遺跡の全景



纏向遺跡には様々な特徴があります。同時期の他の集落と比較しても規模が極めて大きいこと、遺跡の出土品は農耕具よりも土木工事用の道具が圧倒的に多く農業があまり行われていなかったと考えられること、九州から関東にいたる様々な地域の土器が全体の約15%を占めており、人や物が集まっていたと考えられることなど、他の一般的な集落とは違うところが多い点です。このことから、纏向遺跡は、わが国最初の「都市」、もしくはヤマト王権発祥の地と目されています。



↑ 「纏向遺跡」のパンフレット



纏向遺跡の発掘調査は、全体の約2%までしか進んでいないんだって。だから、まだまだ謎が多くて、新発見!? 新情報が!! と思うとワクワクするね! 最新の発掘調査の報告は、桜井市纏向学研究中心のホームページ (www.makimukugaku.jp) にあるから見てや〜。